

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【公表番号】特表2013-509275(P2013-509275A)

【公表日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2012-537181(P2012-537181)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細長要素(14, 34, 54, 154, 174, 194, 204)の先端に配置されあるいは形成される複数の虹彩捕捉フック(12, 32, 52, 152, 172, 192, 202)と、

前記細長要素(14, 34, 54, 154, 174, 194, 204)の基端の基端ハンドル(20, 40, 60, 176, 196, 206)とを備え、

前記細長要素(14, 34, 54, 154, 174, 194, 204)が前記細長要素(14, 34, 54, 154, 174, 194, 204)の操作によって引き込み位置と拡張位置との間で弾性的に移動し、

前記引き込み位置では、前記フック(12, 32, 52, 152, 172, 192, 202)が互いに近接するとともに、前記細長要素(14, 34, 54, 154, 174, 194, 204)が互いに近接し、

前記拡張位置では、前記フック(12, 32, 52, 152, 172, 192, 202)が分離して互いに離間するとともに、前記細長要素(14, 34, 54, 154, 174, 194, 204)の先端部が分離して互いに離間することを特徴とする虹彩リトラクタ(10, 30, 50, 150, 170, 190, 200)。

【請求項 2】

前記細長要素(14, 34, 174)が拡張位置へ移動されるまで前記細長要素(14, 34, 174)を引き込み位置に保持する保持要素(16, 36, 181)を更に備える、請求項 1 に記載の虹彩リトラクタ(10, 30, 170)。

【請求項 3】

前記保持要素(16)の一部に溝(19)が形成され、拡張位置で、前記ハンドル(20)が前記溝(19)内に受けられる、請求項 2 に記載の虹彩リトラクタ(10)。

【請求項 4】

前記保持要素(36)は、他方の細長要素(34)を受けるために前記細長要素(34)の一方に形成される溝(38)を備える、請求項 2 に記載の虹彩リトラクタ(30)。

【請求項 5】

前記細長要素(54)が枢軸(56)で互いに回動可能に取り付けられる、請求項 1 に記載の虹彩リトラクタ(50)。

【請求項 6】

前記フックのそれぞれは、前記細長要素（１４，３４，５４，１５４，１７４，１９４，２０４）の先端に形成される短い先端延在部（７２）を有するＵ形状フック（７０）を備える、請求項１に記載の虹彩リトラクタ（１０，３０，５０，１５０，１７０，１９０，２００）。

【請求項 7】

前記細長要素の先端が基端スリーブ（７４）から延びる、請求項１に記載の虹彩リトラクタ（１０，３０，５０，１５０，１７０，１９０，２００）。

【請求項 8】

前記フック（７０）が前記細長要素内に引き込み可能である、請求項１に記載の虹彩リトラクタ（１０，３０，５０，１５０，１７０，１９０，２００）。

【請求項 9】

前記フック（１７２）が湾曲して前記細長要素（１７４）へと戻る、請求項１に記載の虹彩リトラクタ（１７０）。

【請求項 10】

前記保持要素（１８１）は、ハンドル（１８４）の先端の枢軸（１８３）で回動可能に接続されるトグルレバー（１８２）に対して回動可能に接続され、前記トグルレバー（１８２）は、前記保持要素（１８１）を前記細長要素（１７４）の周囲にクランプして前記細長要素（１７４）を引き込み位置に保持するように移動させるべく回動でき、前記トグルレバー（１８２）は、前記細長要素（１７４）を解放して拡張位置へ拡張させるように前記保持要素（１８１）を移動させるべく回動することもある、請求項２に記載の虹彩リトラクタ（１７０）。

【請求項 11】

前記ハンドル（１９６）は、握り込まれるときに楕円形状へと平坦化するように十分に弾力を有する、請求項１に記載の虹彩リトラクタ（１９０）。

【請求項 12】

前記ハンドルは、付勢装置（２０８）によってバネ荷重される２つのハサミハンドル（２０６）を備える、請求項１に記載の虹彩リトラクタ（２００）。